

授業科目 生活援助技術 II

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
星 紀恵子、山崎 美夏		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 尊厳の保持の観点から、利用者の潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切で安全な支援ができる技術や知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1 安心で快適な生活環境について理解することができる。					
2 自立に向けて安全かつ確かな身じたくの介護技術を実践することができる。					
3 自立に向けて安全かつ確かな入浴・清潔保持の介護技術を実践することができる。					
4 自立に向けて安全かつ確かな排泄の介護技術を実践することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	外出の環境づくり、社会参加における工夫			1	演習
2	余暇活動、レクリエーションにおける工夫			1	演習
3	居住環境の整備の意義と目的			1	演習
4	安全で心地よい生活の場づくり			1	演習
5	睡眠の意義と目的			1	演習
6	睡眠における介護技術			1	演習
7	身じたくの意義と目的			2	演習
8	身じたくに関するアセスメント			2	演習
9	身じたくに関連したところからだの基礎知識			2	演習
10	身じたくに関連したところからだのしくみ			2	演習
11	衣服の着脱の技法			2	演習
12	衣服の着脱の技法			2	演習
13	整容			2	演習
14	生活場面における変化の気づきと医療職との連携			2	演習
15	入浴・清潔保持の意義と目的			3	演習
16	入浴・清潔保持に関する利用者の理解			3	演習
17	入浴・清潔保持に関連したところからだの基礎知識			3	演習
18	入浴・清潔保持に関連したところからだのしくみ			3	演習
19	入浴・清潔保持の介助の技法（一般家庭浴での入浴）			3	演習
20	入浴・清潔保持の介助の技法（施設での座位での入浴）			3	演習
21	排泄の意義と目的			4	演習
22	排泄に関する利用者のアセスメント			4	演習
23	排泄に関連したところからだの基礎知識			4	演習
24	排泄に関連したところからだのしくみ			4	演習
25	排泄の介助の技法（トイレ、ポータブルトイレ）			4	演習
26	排泄の介助の技法（尿器・便器、おむつ交換）			4	演習
27	気持ちよい排泄を支える介護			4	演習
28	利用者の状態に応じた排泄の介助の留意点			4	演習
29	まとめ			1, 2, 3, 4	演習
30	まとめ			1, 2, 3, 4	演習
【使用図書】		<書名>		<著者名>	
教科書 (必ず購入する書籍)		新・介護福祉士養成講座 7 生活支援 介護福祉士養成講座編集委員会		中央法規 2,200円+税	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
実技試験、レポート、出席状況、授業態度等を総合的に評価する。			実技が中心の授業となるので、動きやすい服装と上履きが必要。		